

第2回 伊勢湾漁業影響調査委員会 議事要旨

1. 開催日時：平成26年11月13日 13:30～16:00
2. 場 所：TKP ガーデンシティー名古屋新幹線口 バンケットホール7B
3. 審議内容：現地調査結果の報告と重要魚種の抽出
伊勢湾シミュレーターの計算結果と現地調査結果の比較
4. 委員の発言要旨
 - 伊勢湾の水産活動において、候補地及びその周辺の海域は重要な場所であるとの認識が示された。
 - 魚類漁船漁業標本船調査結果について、全体漁家数に対する標本漁家数の代表性について整理してほしい。
 - 本委員会の資料で取り上げている重要魚種以外の魚種について、今後の調査によっては、さらに重要魚種が出てくるかもしれない。
 - 評価するうえで重要な指標となる護岸生物調査（空港島護岸の生物調査）について、調査地点や調査方法の検討が必要
 - アサリ以外の浮遊幼生を対象とした分析（同定）の必要性が出てくる可能性があるが、その場合、現在の調査で採取した試料による分析が可能か、また、調査方法等を変える必要があるのか等、検討が必要
 - 38種の重要魚種が抽出されたが、卵稚仔の分析結果について不明卵となっているものが非常に多い。評価するうえで、卵稚仔の同定が可能な魚種と不可能な魚種をわかるようにしてほしい
 - アサリ浮遊幼生の動き、局所的な貧酸素水塊の発生は風との関係性が重要であるため、今後は以前にも増して風について留意しながら検討を進めてほしい